

**資料 4-1**

**シャープシューティングの体制による計画捕獲に関する現地検討会  
実施結果概要について**

**1. 目的**

- ・ 林道や高標高地の町道での実施を想定して、シャープシューティングで求められる意識、技術水準、体制や運営を先進地事例等から確認し、実施に向けた課題と解決方策について関係機関で認識共有する。
  - ①シャープシューティングそのものについて理解し、認識共有する。
    - ・ 定義、概要、取り組み経過
    - ・ 他地域での事例
    - ・ 求められる「心（心意気・心構え）」、「技（スキル）」、「体（体制・運営）」  
コンプライアンスとガバナンス（事業として実施、計画・監理・評価、指揮命令系統、役割分担）  
必要な体制と運営 従事者の要件と意識 必要な技能や経験
  - ②シャープシューティングによるヤクシカの計画捕獲を実施するための現状確認・課題抽出を行い、整理・認識共有する。
    - ・ 「国有林道ゲート奥」、「国有林道ゲート手前」、「高標高地町道」などごとに想定される課題整理
    - ・ 体制面、技術面、安全面、調整面等でそれぞれ整理  
例) 安全管理の体制や実施、森林施業（事業実施、施業計画）との調整、道路通行、体制構築と関係機関の連携、他の捕獲方法との組み合わせや分担、技能・装備等
  - ③課題をクリアし実施するために何が必要かを議論し整理・認識共有する。

**2. プログラム**

**12月23日(金)** 於 離島開発総合センター2階大会議室(宮之浦)

■シャープシューティングの体制による個体群管理を理解するための講義

①シャープシューティングについて

講師：八代田千鶴氏（国立研究開発法人森林総合研究所関西支所）

②富士山麓国有林でのシャープシューティング先行事例報告

講師：大橋正孝氏（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課）

③シャープシューティング（誘引狙撃法）における安全確保体制

講師：早川五男氏、岩崎秀志氏（鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、NPO 法人若葉）

**12月24日(土)**

【午前】 於 小楊子林道 24 支線(栗生)

■富士山麓国有林メンバーによるシカパネルとモデルガンを用いた現地デモ

- ①使用車両、装備、体制、人員配置、事前周知等の説明
- ②富士山麓国有林メンバーによるデモ（実施、問いかけ、質疑・討議）

【午後】 於 安房総合センター1階大会議室(安房)

■講義と現地デモを踏まえた総合討議。

- ①課題の抽出・整理（グループ討議）
- ②課題クリアのための議論（全体討議）

### 3. 参加者

(1) 関係機関

九州森林管理局、屋久島森林管理署、屋久島森林生態系保全センター  
鹿児島県自然保護課、屋久島警察署\*、屋久島町環境政策課\*、〃 農林水産課  
上屋久猟友会、屋久町猟友会 計28名 \*は12/23のみ参加

(2) 学識者・講演者

鈴木正嗣氏（岐阜大学応用生物科学部教授、ヤクシカWG委員）  
八代田千鶴氏（森林総研関西支所）  
大橋正孝氏（静岡県自然保護課）  
早川五男氏（鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、NPO法人若葉）  
岩崎秀志氏（同上）

(3) 事務局

環境省九州地方環境事務所、〃 屋久島自然保護官事務所、(株)一成

### 4. 結果概要

(1) 課題の抽出・整理

- ・3班に分かれて、シャープシューティングの体制による計画捕獲を実施するための課題について議論し、その結果を全体で共有した。

各班の構成と主な検討分野は以下のとおり。

「森林管理班」＝森林管理署、森林生態系保全センター

→安全面および調整面（道路・交通、森林施業・治山）の課題

「シカ保護管理班」＝森林管理局、鹿児島県、屋久島町、環境省九州地方環境事務所

→体制面、安全面および調整面（観光・運輸、地域住民・その他）の課題

「現場作業班」＝上屋久猟友会、屋久町猟友会

→体制面（運営）、安全面（当日）、技術面の課題

- ・あげられた課題は、別紙1のとおり。

(2) 課題クリアのための議論

- ・森林管理班から「事業実施者たる環境省だけでなく、全体（チーム屋久島）としてど

う実施体制を構築するか」という意見、現場作業班から「どういう形で協力できるか」という意見があり、全体として実施に向けた前向きな姿勢が確認できたこと等から、『環境省が次年度から事業としてシャープシューティングによる計画捕獲を実施する場合に、チーム屋久としてどう体制を構築できるのか』を具体的に検討した。

- ・ 議論の結果、別紙2のと通りの協力体制を描くことができた。

【講義の様子】



【現地デモの様子】



【総合討議の様子】



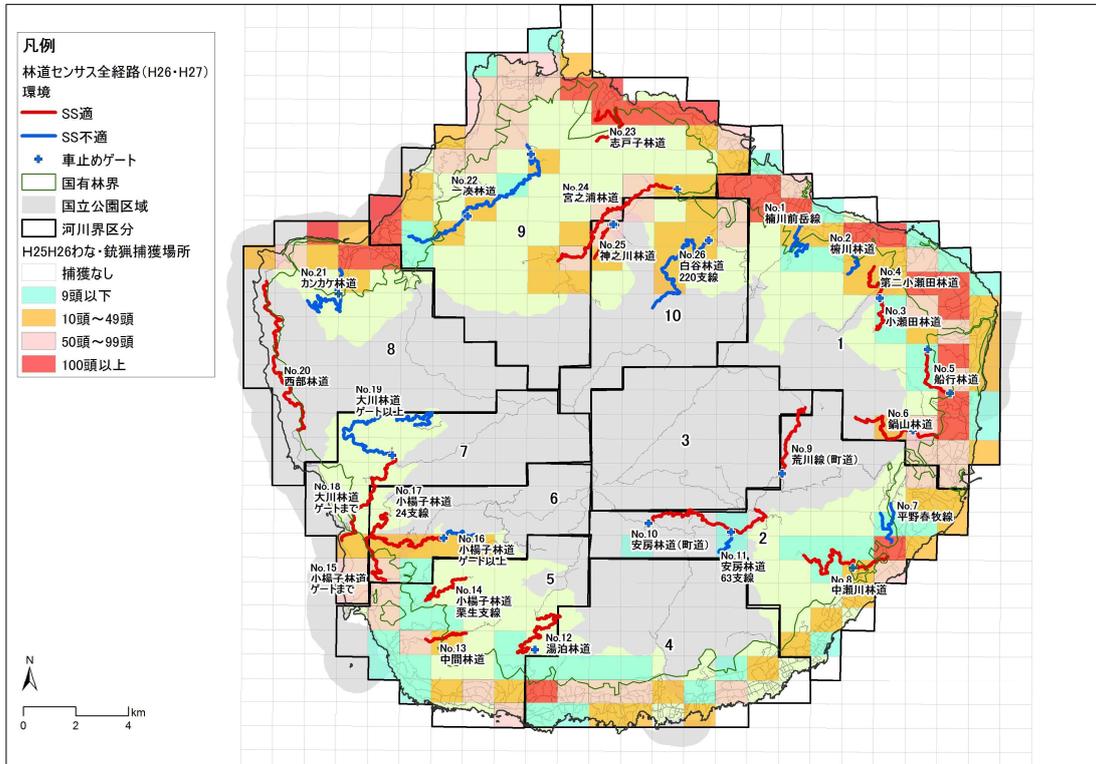
## 5. 平成 29 年度の取り組み（案）について

### (1) 取組の概要

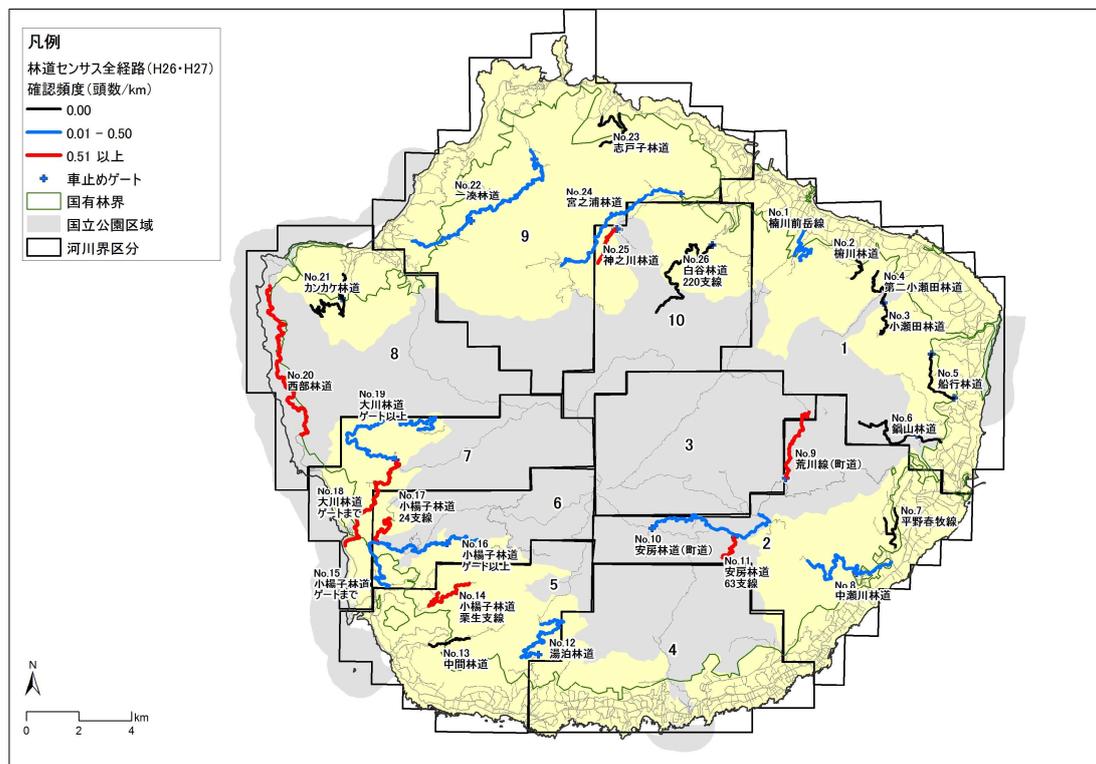
- ・現地検討会の趣旨説明、および現地検討会での総合討議の議論を踏まえ、以下の事項を行いたい。
  - －実弾でのヤクシカ反応把握と移動式シャープシューティングの適性評価
  - －実施体制の構築
  - －安全管理等の実施
  - －課題抽出と解決策検討

### (2) 実施場所

- ・これまで手法検討で模擬試験を行った宮之浦林道、神ノ子林道、大川林道ゲート手前、および小揚子林道 24 支線の 4 路線を中心に、平成 27 年度検討結果（次頁図表）や安全面等も踏まえつつ実施場所を検討したい。



図：林道ごと SS 実施環境評価



図：林道ごとシカ目撃頻度（頭/km）

河川界区分	No.	センサス実施経路	SS環境要因 ※バックストップ(BS)や 路面状況等	国立公園区域 か否か	ゲート 有り
1	1	楠川前岳線	支線が多く、封鎖が困難	一部	○
	2	楯川林道	支線が多く、封鎖が困難		
	3	小瀬田林道	-		
	4	第二小瀬田林道	-		
	5	船行林道	-		
	6	鍋山林道	-		
2	7	平野春牧線	終点が、車両の往來の多い592号線に接続する。	一部 全域	○ ○ ○ ○
	8	中瀬川林道	-		
	9	荒川線(町道)	-		
	10	安房林道(町道)	-		
	11	安房林道63支線	尾根が近く、岩場環境でBSの確保が困難		
5	12	湯泊林道	-		○
	13	中間林道	-		
	14	小楊子林道栗生支線	-		
6	15	小楊子林道ゲートまで	-	一部 一部 一部	○
	16	小楊子林道ゲート以上	路面状況悪い。岩場環境でBSの確保困難		
	17	小楊子林道24支線	-		
7	18	大川林道ゲートまで	-		○
	19	大川林道ゲート以上	法面傾斜がきつく、岩場環境でBSの確保が困難		
8	20	西部林道	-	一部	○
	21	カンカケ林道	岩場、電柱等の構造物が多い		
9	22	一湊林道	ゲート以上は路面悪い		○
	23	志戸子林道	-		
	24	宮之浦林道	-		
10	25	神之川林道	-	一部 一部	○ ○
	26	白谷林道220支線	法面傾斜がきつく、岩場環境でBSの確保が困難		
林道本数/合計/平均			SS不適：9本	区域内：11本	14本

表：林道センサス調査結果（実施環境）

河川界区分	No.	センサス実施経路	調査時期	距離(km) 往路	シカの出現状況		シカの車に対する反応	
					目撃頭数	目撃頻度 (/km)	「走り去る」 個体数	「走り去る」割合 (/全個体数)
1	1	楠川前岳線	H27年7月28日	3.3	1	0.31	1	1.00
	2	楯川林道	H27年7月12日	1.7	0	0.00	-	-
	3	小瀬田林道	H27年7月28日	2.8	0	0.00	-	-
	4	第二小瀬田林道	H27年7月12日	1.5	0	0.00	-	-
	5	船行林道	H27年7月28日	2.7	0	0.00	-	-
	6	鍋山林道	H27年7月30日	4.9	0	0.00	-	-
2	7	平野春牧線	H27年7月11日	2.8	0	0.00	-	-
	8	中瀬川林道	H27年7月11日	6.7	2	0.30	0	0.00
	9	荒川線(町道)	H27年7月29日	3.7	2	0.53	0	0.00
	10	安房林道(町道)	H27年7月13日	7.0	2	0.28	0	0.00
	11	安房林道63支線	H27年7月29日	1.4	1	0.70	0	0.00
5	12	湯泊林道	H27年6月8日	5.7	2	0.35	1	0.50
	13	中間林道	H27年6月4日	2.0	0	0.00	-	-
	14	小楊子林道栗生支線	H27年6月6日	3.2	6	1.87	0	0.00
6	15	小楊子林道ゲートまで	H27年6月7日	7.6	1	0.13	0	0.00
	16	小楊子林道ゲート以上	H27年6月7日	2.7	1	0.37	0	0.00
	17	小楊子林道24支線	H27年6月7日	2.1	4	1.95	0	0.00
7	18	大川林道ゲートまで	H27年6月5日	5.8	8	1.38	0	0.00
	19	大川林道ゲート以上	H27年6月5日	9.7	4	0.41	1	0.25
8	20	西部林道	H27年7月28日・29日	9.1	12	1.32	0	0.00
	21	カンカケ林道	H27年7月30日	6.4	0	0.00	-	-
9	22	一湊林道	H27年7月27日	10.6	2	0.19	0	0.00
	23	志戸子林道	H27年7月12日	3.7	0	0.00	-	-
	24	宮之浦林道	H27年1月7日	7.5	0	0.00	-	-
10	25	神之川林道	H27年1月7日	1.6	0	0.00	-	-
	26	白谷林道220支線	H26年11月22日	7.1	0	0.00	-	-
計				123.4	48	0.39	3	0.06

表：林道センサス結果（シカ出現状況）